

| | | |
|------------|---|--|
| 事業の概要・実施方針 | <p>移住者向けパンフレットをより多くの人に見てもらえるように、移住を検討している人が必要としている情報を入手できるようにします。また、移住定住に関する相談に関して協力していただく団体との連携を深め、相談体制の充実を図ります。</p> <p>空き家の有効活用といった地域活性化の観点からも民泊制度を活用した移住定住のきっかけ作りとなるよう調査・検討をします。</p> | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|-----------------|---|--|
| | 前期 | 随时 移住者向けパンフレットの配布（首都圏等） | |
| | | 随时 矢吹町ホームページ内での移住定住情報サイトの周知 随时 協力団体との協議 随时 相談体制の整備 随时 民泊について情報収集・関係課との連携 | |
| | 後期 | 随时 移住者向けパンフレットの配布（首都圏等） | 随時 移住者向けパンフレットの配布（首都圏等） 随時 矢吹町ホームページ内での移住定住情報サイトの周知 随时 協力団体との協議 随时 相談体制の整備 随时 民泊について情報収集・関係課との連携 |
| | | 随时 矢吹町ホームページ内での移住定住情報サイトの周知 随时 協力団体との協議 随时 相談体制の整備 随时 民泊について情報収集・関係課との連携 | |

| | | | |
|--|---|-----------|---|
| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・移住定住に関する相談体制の整備、NPOとの連携を図ります。 ・移住定住に関する相談件数 10件 | | |
| | 目標に対する前期までの成果 | 目標に対する達成率 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・移住相談件数1件 ・空き家相談件数1件 ・ふふふカフェ参加（7月東京都内・県主催） ・移住者向けパンフレット東京都内の関係機関（ふるさと回帰支援センター、JOIN）へ配置 | 50 | % |
| 目標達成に向けての後期の取り組み | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・前期の取り組みを継続し、町内外の関係機関・団体と連携し相談体制の整備と連携を図ります。 | | | |

| | | |
|------------|---|--|
| 事業の概要・実施方針 | 現在実施されている「ふれあいの場」創出事業を継続しつつ、町独自の婚活支援策についても検討を行います。 また、県主体のオンライン型マッチングシステムの周知を図り、加入者増を図ります。 | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|-----------------|---|--------------------|
| | 前期 | 随时 「ふれあいの場創出事業」イベント実施 随时 「はび福なび」について情報発信 随时 オンライン型マッチングシステムの周知 (矢吹町ホームページ) | |
| | 後期 | 随时 「ふれあいの場創出事業」イベント実施 随时 「はび福なび」について情報発信 随时 オンライン型マッチングシステムの周知 (矢吹町ホームページ) | |

| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | |
|---|---------------|---|
| | 目標に対する前期までの成果 | |
| | 目標に対する達成率 | |
| 出会い&ふれあいの会【矢吹町からの参加者】 7月…7名（男性5名、女性2名） 9月…2名（男性2名、女性0名） | | |
| | 50 | % |
| 目標達成に向けての後期の取り組み | | |
| 12月 婚活パーティー 矢吹町からのイベント参加者を増やすため、情報の周知を行います。 | | |

| | |
|-------------------|---|
| 事業の概要・実施方針 | 地域経済の発展と産業活性化及び町民の雇用拡大を図るため、町内外の企業に対し町内への誘致を積極的に働きかけます。 |
| | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|-----------------|---|---|
| | 前期 | 4月 県等関係機関協議 4月 空き工場紹介 4月 増設企業協議 4月 福島県東京事務所訪問 5月 企業立地協定書締結式 5月 町内企業訪問 6月～本社等訪問 9月 企業立地セミナー参加 | 5月 天乃屋立地協定書締結式 7月 日建立地協定書締結式 7月 本社訪問（大阪方面） 9月 企業立地セミナー 県等関係機関協議（随時） 町内企業訪問（随時） 増設企業協議（1社） |
| | 後期 | 隨時 県等関係機関協議 | |

| | | | |
|---|----------------|-----------|---|
| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | | |
| | 2件の新規誘致を目指します。 | | |
| | 目標に対する前期までの成果 | 目標に対する達成率 | |
| | 町内企業の増設に伴う相談2件 | 50 | % |
| 目標達成に向けての後期の取り組み | | | |
| 県企業立地課と連携を図るとともに、本町独自の優遇制度を広くアピールし、誘致活動に努めます。 | | | |

| | | |
|------------|---|--|
| 事業の概要・実施方針 | 井戸尻地区「第2苗畠跡地」の県営工業団地整備に向け、県や国と連携を図り、総合的な整備について協議を進めていくとともに、合わせて企業への誘致活動を行い、整備実現を図ります。 | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|-----------------|---|---|
| | 前期 | 4月 県企業立地課協議 5月 関東森林管理局協議 隨時 厅内協議 随时 県関係機関協議 随时 企業誘致活動 | 4月 企業立地課協議 5月 関東森林管理局協議 7月 埋蔵文化財協議（白河市） |
| | | 後期 | 隨時 国・県等関係機関との協議 |

| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | | |
|----------------------|--------------------------------|--|-----------|
| | 国県及び関係機関等との協議を進め、総合的な整備を推進します。 | | |
| | 目標に対する前期までの成果 | | 目標に対する達成率 |
| | 苗畠用地の活用について県と協議を行いました。 | | 50 % |
| 目標達成に向けての後期の取り組み | | | |
| 今後も県関係部局との連携協議を図ります。 | | | |

| | | |
|------------|--|--|
| 事業の概要・実施方針 | 中心市街地及び地域経済の活性化を図るため、町の空き店舗対策事業補助金や創業支援事業の周知を行い、創業を希望する方への支援と町内外の各種商店に対し、中心市街地内の空き店舗への出店について誘導誘致を積極的に行います。また、商工会や商店街連合会と定期的な情報交換を行うとともに、既存店舗の経営力強化及び、買い物弱者対策としての宅配事業「御用聞き」等の事業展開について協議を行います。 | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|-----------------|------------------|--------------------|
| | 前期 | 隨時 商工関係団体との定期協議 | |
| | | 隨時 各種支援制度・補助金の周知 | |
| 後期 | 隨時 商工関係団体との協議 | | |

| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | | | |
|------|--|--|-----------|--|
| | 空き店舗対策事業補助活用 2件 | | | |
| | 目標に対する前期までの成果 | | 目標に対する達成率 | |
| | 空き店舗対策事業補助活用 0件 | | | |
| | 目標達成に向けての後期の取り組み | | | |
| | 商工会等、関係団体と連携を図りながら、既存店舗の経営力強化と、創業を希望する方の掘り起こしや創業者に対する各種支援策及び空き店舗対策事業等の周知を積極的に行います。 | | | |

| | | |
|------------|---|--|
| 事業の概要・実施方針 | 日本三大開拓地の1つである矢吹町を全国に発信し、矢吹町の魅力を県内外に広くPRするため、町内の産業、教育、文化等に係る団体等が一同に集結した矢吹町最大規模のイベントとして「やぶきフロンティア祭り」を開催します。 | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|-----------------|--|---|
| | 前期 | 5月 実行委員会役員会 6月 実行委員会総会 6月 町内企業へTVコマーシャル依頼 6~7月 出展者募集 8月 報道各社へ情報提供 8月 実行委員会 9月9日 やぶきフロンティア祭り開催 9月 アンケート実施及び回収（対象者：ボランティア等） | 6月 実行委員会役員会の開催 7月 実行委員会 8月 実行委員会 7~8月 出展者募集・説明会 8月 報道各社へ情報提供 8月 実行委員会 9月9日 やぶきフロンティア祭り開催 9月 アンケート実施及び回収（対象者：ボランティア等） |
| | | 後期 | 10月 改善点の検討 11月 次年度、開催内容の検討 |

| | | | |
|------|--|-----------|---|
| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・来場者数 15,000人 出店者 100団体 ・ボランティアセンターの活用によるスタッフ配置 | | |
| | 目標に対する前期までの成果 | 目標に対する達成率 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・来場者数 10,000人 出店団体112団体 →雨天のため来場者の減 ・一般ボランティア14人 ・学生ボランティア15人 ・交通教育専門員3人 ・職員ボランティア126人 | 95 | % |
| | 目標達成に向けての後期の取り組み | | |
| | <p>今回の課題について検証を行います。 また、矢吹町を発信・PRする重要な機会であるため、今後も集客と内容の充実に取り組みます。</p> | | |

| | | |
|------------|---|--|
| 事業の概要・実施方針 | <p>地域ブランド化へ向けた新たな取り組みとして、地域おこし協力隊を募集するとともに、道の駅オープンを見据え、新商品開発や町产品全体のブランド化を図ります。</p> <p>また、平成29年度に完成した新酒「開拓のうた」のブランド化を進め、地域を巻き込んだPR活動を行います。</p> | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|-----------------|----|---|
| | 前期 | 後期 | 【地域おこし協力隊】 6月 一般募集の開始 7月 ふふふカフェ参加 9月 地域おこし協力隊募集説明会参加 随時 関係機関と情報交換⇒福島県、ふるさと回帰支援センター、移住・交流推進機構、東京農業大学、NPO法人ふれっしゃ・すてーじ、未来の準備室 【新酒「開拓のうた」】 4月 関係団体等との協議 6月 酒米田植え 随時 報道各社へ情報提供 |
| | | | 【地域おこし協力隊】 6月 一般募集の開始 7月 ふふふカフェ参加 9月 地域おこし協力隊募集説明会参加 随時 関係機関と情報交換⇒福島県、ふるさと回帰支援センター、移住・交流推進機構、東京農業大学、NPO法人ふれっしゃ・すてーじ、未来の準備室 【新酒「開拓のうた」】 6月 酒米田植え 随時 関係団体等との協議 随時 報道各社へ情報提供 |

| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | |
|------------------|--|-----------|
| | ●地域おこし協力隊の採用 2名 | |
| | ●新酒「開拓のうた」ブランド力向上のための首都圏等での販売PR活動 | |
| | ●道の駅事業（料理コンテスト）と連携した商品開発、町产品ブランド化の検討 | |
| 目標に対する前期までの成果 | | |
| | ●地域おこし協力隊募集を開始し、東京都内で開催された協力隊募集説明会等に参加。関係機関と随時連携を図り採用に取り組みました。 ●「開拓のうた」は関係団体・機関と連絡調整を図りながら、新酒づくりに取り組みました。6月には田植えを行い、10月の稲刈り、酒の仕込みについて、協議を行いました。 | 目標に対する達成率 |
| 目標達成に向けての後期の取り組み | 前期の取り組みを継続するとともに、関係機関等と連携を図りながら事業を実施します。 | 50 % |

| | | |
|------------|---|--|
| 事業の概要・実施方針 | 町の玄関口であり、顔となる矢吹駅西口を中心とした地域において「大正ロマンの館」及び「中町ポケットパーク」を核とした賑わいの創出について、指定管理者、商工会、商店街連合会等の関係団体と連携を図り取り組みます。 | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|-----------------|---|---|
| | 前期 | 隨時 指定管理者との協議 随时 指定管理者及び商工関係機関と賑わい創出について協議 6月 指定管理者評価・検証 | |
| | | 後期 | 指定管理者との協議 9月 指定管理者公募 10月 指定管理者選定委員会の開催 12月 指定管理者決定 |

| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | |
|---|------------------------------|-----------|
| | ・大正ロマンの館への来館者数10,000人を目指します。 | |
| | 目標に対する前期までの成果 | 目標に対する達成率 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・大正ロマン館の来館者数2,412人（8月末現在） ・中町ポケットパークの利用については、毎月の軽トラ市や9月に商工会青年部祭りにおいて、町内外から来場がありました。 | | 50 % |
| 目標達成に向けての後期の取り組み | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・大正ロマンの館においては、イベントを開催し来館者の増加を図ります。 ・中町ポケットパークにおいて、11月17日からイルミネーションを実施します。 ・商店会及び商工会でのイベントを検討しております。 | | |

| | |
|------------|--|
| 事業の概要・実施方針 | 「やぶきぐるぐるノーカーズ」や東京農業大学と連携し、首都圏において矢吹町産野菜のPRイベントを実施します。 また、三鷹市住民協議会と連携し各種イベントに参加しPRを行います。 さらに、町内の農産物等のPR販売を首都圏で行います。 |
| | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|-----------------|--|---|
| | 前期 | 4月 新川中原イベント参加 5月 大沢イベント参加 7月 三鷹夏祭り参加 隨時 各種イベントに参加 【販売方法の検討】 4月～ イベントにおける農産物等の販売方法を調査検討 5月～ イベントにおける農産物等の販売方法を変更（一部で試行） 隨時 報道各社へ情報提供 | 4月 新川中原イベント参加 5月 大沢イベント参加 7月 みたか夏祭り参加 9月 三鷹国際交流フェスティバル参加 隨時 関係団体・機関等と協議 |
| | 後期 | 未定 農産物等のPR販売 未定 連雀イベント参加 未定 井の頭イベント参加 随时 各種イベントに参加 随时 報道各社へ情報提供 | |

| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | | | | |
|------|---|-----------|--|--|--|
| | 三鷹市を中心とした首都圏PR販売等への出店（参加）回数6回以上 東京農業大学と連携したイベントの実施 | | | | |
| | 目標に対する前期までの成果 | 目標に対する達成率 | | | |
| | 三鷹市での農産物等PR販売へ4回出店しました。 | 50 % | | | |
| | 目標達成に向けての後期の取り組み | | | | |
| | 10月以降の三鷹市での出店及び首都圏でのPR販売会を実施し、矢吹町産野菜等のPRに努めます。 | | | | |

| | | |
|------------|---|--|
| 事業の概要・実施方針 | 町の基幹産業である農業の発展及び振興のため、地域農業の担い手である認定農業者の掘り起こしや育成を行います。また、地域連携推進員を中心農業改善計画作成のフォローアップ等を行います。 その他、各関係機関等が主催する農業経営能力向上等を目的とした各種研修や講演会への積極的な参加を促し、強い農業を目指すため、農業法人等の組織化についての助言や支援を行います。 | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|-----------------|---|--------------------|
| | 前期 | 4月～ 地域連携推進員との連携により、認定農農業者や新規就農者を確保するため更なる掘り起こしを行います。関係機関と連携し新技術の習得のための各種研修等の情報提供を行います。 | |
| | 後期 | 10月～ 先進地視察研修を開催し、新たな技術の習得や農業経営向上を目指すよう推進を図ります。認定農業者の再認定者のフォローアップを行い担い手確保を積極的に推進します。 | |

| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | | |
|---|---|-----------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> 平成30年3月末現在の認定農業者数163名を165名まで確保します。 新規就農者を新たに2名以上確保します。 2件以上の農業生産法人化設立を支援します。（平成29年度末現在7法人） | | |
| | 目標に対する前期までの成果 | 目標に対する達成率 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 7月に家族経営協定調印式を行いました。 新規就農者を1名認定しました。 新規就農希望者に対しヒアリングを実施し、認定に向けて計画書の作成を行いました。 認定農業者連絡協議会がやぶきフロンティア祭りに出店し、認定農業者をPRしました。 | | |
| 目標達成に向けての後期の取り組み | | 50 | % |
| 11月に新しい発見や先進技術の習得のための、先進地視察研修会を開催します。 また、担い手等の掘り起こしとして、1名の新規就農希望者及び2名の認定農業者の認定審査会を開催します。 | | | |

| | | |
|------------|---|--|
| 事業の概要・実施方針 | <p>国の米政策改革により、今年度から国による米の生産数量目標の配分がなくなり、農家自らが経営判断や販売戦略に基づき、需給に応じた生産が行えるようになりました。</p> <p>この制度改革によって、主食用米の過剰作付けから米価下落が起きないよう、県と連携した主食用米の生産数量の調整を図りながら、あわせて国の経営所得安定対策による非主食用米の飼料用米や振興作物である大豆の作付けの推進を図り、農業者の所得安定を図っております。</p> | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|---|--|---|
| | 前期 | 後期 | |
| | <p>4月 収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）受付 5月～6月 経営所得安定対策受付 7月～8月 飼料用米、大豆等の作付け確認</p> | <p>10月～ 国による交付金支払いの資料作成等 2月～農業政策及び制度の農業者向け説明会開催</p> | <p>4月 収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）受付 5月 認定農業者受付 6月 一般農家受付 7月 現地確認</p> |

| | | | |
|------|--|--|-------------|
| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | | |
| | <p>経営所得安定対策加入者210名を目指します。</p> <p>※昨年度は560名の加入がありましたが、加入者のほとんどが米の直接支払い交付金の申請でした。しかし、平成30年度より米の直接支払い交付金が廃止となつたため加入者は減となっております。</p> | | |
| | 目標に対する前期までの成果 | | 目標に対する達成率 |
| | <p>経営所得安定対策加入者は189名となりました。</p> | | <p>70 %</p> |
| | 目標達成に向けての後期の取り組み | | |
| | <p>国からの交付金支払いのための書類の整理と2月に新年度に向けた農業施策の説明会を実施します。</p> | | |

| | | |
|------------|---|--|
| 事業の概要・実施方針 | <p>食の安全安心を推進するため、有機栽培及び特別栽培農業について調査を行いながら当該施策を推進します。</p> <p>また、東京農業大学と連携し、善郷小学校5年生及び中畠小学校5年生の児童による田植え及び稻刈りを実践しながら、カブトエビを活用した有機農法の実証実験を行い有機農法の推進を図ります。</p> | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|-----------------|---|--------------------|
| | 前期 | 4月 東京農業大学と業務委託契約締結 6月19日 善郷小、中畠小による大池ほ場での田植え 6月中旬 カブトエビ調査 | |
| | 後期 | 9月 土壌調査 10月 稲刈り | |

| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | |
|---|----------------------------|-----------|
| | カブトエビのふ化及び大量発生するように取り組みます。 | |
| | 目標に対する前期までの成果 | 目標に対する達成率 |
| カブトエビのふ化のため、ほ場にビニールシートを張るなど、水温を上げる取り組みを行い、目視により数匹のカブトエビを確認することができました。 | | 50 % |
| 目標達成に向けての後期の取り組み | | |
| 稻刈りに向けての準備と次年度以降のカブトエビの大量ふ化実現に向けて調査研究を東京農業大学と行います。 | | |

| | | |
|------------|--|--|
| 事業の概要・実施方針 | <p>耕作放棄地の解消を目指し、農業委員会を中心に、まちづくり団体や行政区等の協力を得て、それぞれの地区の状況に応じた対策を実施します。</p> <p>事業の実施については、県及び農業関係機関と連携し、補助事業を活用しながら解消を図ります。</p> <p>また、耕作放棄地解消とあわせ、景観形成や町民の憩いの場となるよう、花等の植栽について推進します。</p> | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|-----------------|---|--------------------|
| | 前期 | 4月～解消地区の検討及び関係機関との協議。 農業委員会との協議。 駅周辺や線路沿線の耕作放棄地について農業生産法人及び地域団体に依頼しコスモス等を景観を向上させる花の植えつけを行います。 | |
| | 後期 | 10月～関係機関との協議。 農業委員会との協議。 | |

| | | |
|------|---|-----------|
| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | |
| | 農業委員会との連携のもと、農地の貸し借りの強化等により耕作放棄地1ha以上の解消を目指します。 | |
| | 目標に対する前期までの成果 | 目標に対する達成率 |
| | 農地パトロールを実施したことにより、農家等へ耕作放棄地解消の意識付けがされました。 | 50 % |

| | | |
|------------|---|--|
| 事業の概要・実施方針 | 遊休農地や耕作放棄地を解消するため、農地の貸し借りの仲介役として農地中間管理機構活用事業の活用推進を図り、担い手へ円滑な農地の集積、集約化を図ります。 | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|-----------------|---|--------------------|
| | 前期 | 4月 重点地区策定（境町、南町、大町、花咲、白山、神田西） 5月 ほ場整備の説明会開催 8月 具体的な要件確認 随時 農地の貸し借り推進 | |
| | 後期 | 10月～農地の貸し借り推進 | |

| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | |
|---|--|--|
| | 農地中間管理機構を通じ農地の貸し借りを推進します。 貸し借り成立件数10件 | |
| | 目標に対する前期までの成果 | 目標に対する達成率 |
| 平成30年8月末までに農地中間管理機構を活用した農地の貸し借り件数は4件、3.3ha成立しました。 | | 50 % |
| 目標達成に向けての後期の取り組み | | 12月末まで農地の貸し借りの相談を4件予定しており、今後も農業委員、農地最適化推進委員へ農地中間管理機構を活用した農地貸し借りの推進に努めます。 |

| | | |
|------------|---|--|
| 事業の概要・実施方針 | <p>農作物へ被害を及ぼす有害鳥獣（カラス、カモ、カワウ等）に対し、有害鳥獣捕獲隊と駆除の委託契約を結び、適宜対策を実施し農作物の被害軽減を図ります。</p> <p>イノシシの被害報告も増加しているため、電気柵による被害防止対策も行います。</p> <p>シラサギによる農作物等被害（根宿地区）については、消防団の協力を得て、放水で巣を落とし繁殖を抑制させることや、鳥追いの風船等を利用し農作物の被害軽減を図ります。</p> <p>また、県の農業総合センターへシラサギ生体等の調査依頼を行い、シラサギ減少に向けた対策の検討を行います。</p> | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|-----------------|----------------------------|--|
| | 前期 | 4月 4月 6月 類) 7月 | 有害鳥獣捕獲隊との委託契約締結 シラサギの巣へ放水 田植え後の有害鳥獣駆除（カラス、カモ 類） 電気柵設置場所検討会 |
| | | 後期 | 9月 稻刈り前の有害鳥獣捕獲（カラ ス、カモ類） 10月 電気柵設置 |

| | | |
|------|---|-------------|
| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | |
| | <p>農作物被害に係る有害鳥獣の捕獲を行います。</p> <p>カラス 50羽 カモ50羽 カワウ20匹 シラサギの撃退 イノシシの電気柵対策総延長2,000m（柿之内、田内地区）</p> | |
| | 目標に対する前期までの成果 | 目標に対する達成率 |
| | <p>有害鳥獣捕獲に関してはカラス1羽、カモ9羽、カワウ1羽、イノシシ1頭を捕獲しました。</p> <p>シラサギの撃退については、巣への放水や鳥追いのロケット花火を実施しましたが、効果が薄かったため、今後関係機関と協議し対策を進めてまいります。</p> | <p>50 %</p> |
| | 目標達成に向けての後期の取り組み | |
| | <p>稻刈り前の有害鳥獣捕獲の実行とイノシシ対策として電気柵の設置の拡大を図ります。</p> <p>また、イノシシ捕獲のためのわなの設置については継続していきます。シラサギの撃退に関しては県の農業試験場と協力し、効果的な撃退方法を検討します。</p> | |

| | | |
|------------|--|--|
| 事業の概要・実施方針 | 町の基幹産業である農業振興を図るため、国の経営所得安定対策と合わせ、新規需要米（飼料用米等）作付け者に対し、町上乗せ助成を行い、農業者の所得安定を図ります。 | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|-----------------|--------------------------------|--|
| | 前期 | 4月～6月 経営所得安定対策受付 7月 現地確認 | 5月 経営所得安定対策における認定農業者受付 6月 経営所得安定対策における一般農家受付 7月 現地確認 |
| | 後期 | 12月～出荷確認及び面積確認 12月 町単独助成金交付 | |

| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | |
|------|--|-----------|
| | 国の施策である、経営所得安定対策加入者促進を図り、飼料用米の作付け60haを目指します。 | |
| | 目標に対する前期までの成果 | 目標に対する達成率 |
| 目標管理 | 今年度より、米の直接支払い交付金(7,500円／10a)が廃止となり、経営所得安定対策加入者も減少しましたが、町単独助成を交付する新規需要米（飼料用米）の作付け面積は22haとなりました。 | 70 |
| | 目標達成に向けての後期の取り組み | % |
| | 12月の町単独助成金の交付に向けて出荷確認及び面積確認を行い、年内に助成金の支払いを実施します。 | |

| | | |
|------------|--|--|
| 事業の概要・実施方針 | 平成29年度に取り組んだ日本酒づくり事業を拡充し、三鷹市との連携を強化し、グリーンツーリズム事業として展開していきます。 また、平成29年度から運用開始しているインターネット販売「おいしいやぶきオンラインショップ」の周知を図り、利用拡大を推進します。 | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|--|--|--|
| | 前期 | 後期 | |
| | <p>4月 関係団体等との協議 5月～ 「おいしいやぶきオンラインショップ」新商品の検討 6月 グリーンツーリズム田植え 隨時 「おいしいやぶきオンラインショップ」の周知 隨時 三鷹市住民協議会の「復興応援支援バスツアー」の対応 隨時 報道各社へ情報提供</p> | <p>10月 グリーンツーリズム稻刈り 11月 「おいしいやぶきオンラインショップ」新商品の取扱開始 12月 「開拓のうた」販売 12月 三鷹市Mマルシェ出店 未定 首都圏等での日本酒のPR 隨時 日本酒ブランド力強化について検討 隨時 「おいしいやぶきオンラインショップ」の周知 隨時 三鷹市住民協議会の「復興応援支援バスツアー」の対応</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●おいしいやぶきオンラインショップ 随時 関係団体等との協議 8月 2期目の出店者募集 ●グリーンツーリズム 6月 田植えの実施 |

| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | | |
|------------------|-----------------------------------|--|---|
| | 目標に対する前期までの成果 | | 目標に対する達成率 |
| | 6月 田植えの実施 ネット販売件数5件 (4/1～9/30) | | 50 % |
| 目標達成に向けての後期の取り組み | | | 関係団体等と連携してオンラインショップでの販売商品の増と商品の周知を行います。 |

| | | |
|------------|--|--|
| 事業の概要・実施方針 | <p>老朽化が進み堤体等の改修が必要とされる「ため池」について、農業用水安定確保及び地震、台風等の災害時の安全性を確保するため順次改修に取り組みます。</p> <p>平成29年度から県営事業の採択を受けた「釜池（西長峰地区）」について、引き続き改修工事の施工を行います。</p> <p>また、ため池の放射性物質対策事業により、ため池の低質濃度が8,000ベクレル超のため池について、放射性物質の除去対策を実施します。</p> | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|-----------------|---|--------------------|
| | 前期 | 釜池協議 4月 通行止め解除 9月 第2期工事施工準備 隨時 県及び受益者協議 ため池放射性物質対策事業 9月 入札 | |
| | 後期 | 釜池協議 10月～県営工事施工 ため池放射性物質対策事業 10月～対策工 | |

| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | |
|--|---|-----------|
| | 釜池整備 H29年度～H31年度 県営による改修工事の実施 ため池放射性物質対策事業 平成30年度 放射性物質除去対策の実施（子八清水池、長命池、入の沢池） | |
| | 目標に対する前期までの成果 | 目標に対する達成率 |
| 釜池整備事業 受益者・近隣住民・事業所等へ今年度工事（通行止め等）を周知しました。 また、県営により工事再開します。（10月～） | | |
| ため池放射性物質対策事業 福島再生加速化交付金の交付決定となり、対策業務を発注しました。（10月契約） | | 50 % |
| 目標達成に向けての後期の取り組み | | |
| 釜池整備事業 県営事業により工事施工（堤体改修等） 地域住民等へ通行止め等の説明を実施します。 | | |
| ため池放射性物質事業 対策工の実施（子八清水池・長命池・入の沢池） 随時地区役員及び受益者と協議を行い、スムーズな工事進捗を管理します。 | | |

| | |
|------------|--|
| 事業の概要・実施方針 | <p>森林環境税交付金事業は、基本枠事業及び地域提案重点枠事業の二つの柱で成り立っています。</p> <p>基本枠事業は、身の回りの森林に関心を持ち森林の大切さを学ぶ目的から、町内各小学校及び各種団体において、森林環境学習や森林環境整備を実施します。</p> <p>地域提案重点枠事業は、福島県産材を利活用した施設等の整備の検討を図ります。</p> |
| | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|-----------------|--|--------------------|
| | 前期 | 6月～9月：森林環境学習の実施（町内4小学校）及び森林環境整備の実施（第二区自治会、こうすっぺ西側イメージアップ作成） 8月：次年度の地域提案重点枠事業の検討 | |
| | 後期 | 10月～2月：森林環境学習の実施（町内4小学校）及び森林環境整備の実施（第二区自治会、こうすっぺ西側イメージアップ作成） | |

| | | | |
|---|--|-----------|---|
| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | | |
| | 森林環境学習の推進と浸透及び森林環境整備への住民参画を図ります。また、重点枠においては、平成31年度実施へ向けた、福島県産材を活用した施設整備等の検討を図ります。 | | |
| | 目標に対する前期までの成果 | 目標に対する達成率 | |
| | <p>基本枠事業 各小学校・各団体へ遅延なく補助金を交付し、森林環境学習等を実施しました。</p> <p>重点枠事業 平成31年度に整備予定の（仮称）矢吹町複合施設整備事業において、施設内装の壁材等に県産材を利活用するため、重点枠事業のエントリーを福島県へ行いました。</p> | 50 | % |
| 目標達成に向けての後期の取り組み | | | |
| <p>【基本枠事業】 前期に引き続き、各小学校において森林環境学習の実施、各団体による森林環境整備を実施します。</p> <p>【重点枠事業】 福島県へ事業要望の本申請を実施します。</p> | | | |

| | | |
|------------|--|--|
| 事業の概要・実施方針 | 日本型直接支払交付金事業における、多面的機能支払交付金については、農業者が共同で行う農地及び農業施設等の保全活動である農地維持支払いと、農業者を含めた地域の住民で景観形成や農業施設の長寿命化のための活動である資源向上支払いに対し支援を行います。また、環境に配慮した活動を行う、環境保全型直接支払制度についても支援を行います。 | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|-----------------|--|---|
| | 前期 | 4月～ 実施状況報告の確認 事業計画の認定 交付申請 9月～ 補助金の交付 | 4月 事業計画認定（26組織 うち新規1組織） 6月 補助申請 7月 第1回目補助金交付 9月 第2回目補助金交付 |
| | 後期 | 10月～ 説明会、研修会 10月～ 中間指導 3月～ 後期指導 | |

| | | | |
|------|--|-----------|------|
| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | | |
| | 平成29年度に引き続き新たな活動組織の掘り起こしを行うため、地域に伺い丁寧な説明を行います。 ・平成29年度末組織数 25組織 ・平成30年度目標組織 27組織 | | |
| | 目標に対する前期までの成果 | 目標に対する達成率 | |
| | 今年度、25組織から新規組織が1組織増え、26組織となりました。 また、補助金の事業計画認定、補助金交付を計画どおり遂行しました。 | | 50 % |
| | 目標達成に向けての後期の取り組み | | |
| | 今後、多面的活動エリアを増やすべく、各地区の状況を鑑みながら新規組織について推進強化を図ります。 また、各組織の活動支援のため地域へ出向き、支援を行ってまいります。 | | |

| | | |
|------------|--|--|
| 事業の概要・実施方針 | 隈戸揚水機場周辺の美しい水辺景観を地域の憩いの場として活用するべく、三十三觀音史跡公園の管理等を行っている地域住民の活動と有機的連携を図り、揚水機場周辺の農業施設等の多面的機能の推進を図るとともに、地域住民、子供たちや散策者への利便性向上や学習の場としての提供を図ります。 | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|-----------------|---------------------------|--------------------|
| | 前期 | 4月～5月：補助金交付申請 6月～：事業実施 | |
| | 後期 | 10月～：事業実施、次期計画の検討・策定 | |

| | | |
|------|--|-----------|
| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | |
| | 第二区自治会と連携し、三十三史跡公園内での環境整備を実施し、散策者等への利便性向上を図ります。 | |
| | 目標に対する前期までの成果 | 目標に対する達成率 |
| | 第二区自治会により、子供たちの学習の場で利用できる学習用品（下敷き等）を作成することを決定しました。 | 50 % |

| | | |
|------------|---|--|
| 事業の概要・実施方針 | 農用地の高度利用の促進及び優良農地を保全するため概ね10年間を目安に「農業振興地域整備計画」を策定します。 最終の総合見直しは平成19年5月であったため、総合見直しを実施するため、各種調査を行います。 | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|-----------------|---|---|
| | 前期 | 4月 アンケート調査集計 5月 現地調査 6月 基礎調査資料整理 7月 アンケート調査報告（町広報誌による） 8月～ 各種団体との協議 | 4月 アンケート調査集計 996名送付 461名回答 回答率46.2% 5月～8月 現地調査実施 8月 アンケート調査報告 町広報誌掲載 |
| | 後期 | 10月～住民向け説明会 12月～県との協議 2月 素案作成 3月 県から同意取得予定 | |

| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | |
|--|--|-----------|
| | 平成30年度中に調査及び住民向け説明会を行い、総合見直しに向けて調整します。 | |
| | 目標に対する前期までの成果 | 目標に対する達成率 |
| <p>農家向けにアンケート調査を実施し、996名中461名から回答をいただきました。(46.2%)</p> <p>集計結果を8月の町広報誌に掲載し、農業の現状及び課題、今後の推進方法について報告させていただきました。</p> <p>現地調査については、GISの航空写真や登記簿の情報により、農地であるか否かの確認を実施しました。</p> | | 50 % |
| 目標達成に向けての後期の取り組み | | |
| アンケート調査や現地調査を基に、町の農業振興について住民説明会を実施しながら、各関係機関と協議検討を深め、計画策定を進めます。 | | |

| | | |
|------------|--|--|
| 事業の概要・実施方針 | 原子力災害による放射性物質拡散の影響により、停滞している森林整備・林業生産活動を活性化させるため、間伐等の森林整備と放射性物質対策を一体的に実施し、低下しつつある森林の公益的機能・多面的機能を回復させながら、森林内の放射性物質の低減を図り「ふくしまの森林」の再生させるとともに、森林整備の促進を図ります。 | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|-----------------|--|--------------------|
| | 前期 | 6月～：森林整備実施（中畠地区（西長峰、東長峰、弥栄、松倉等）） 6月～：第4地区同意等の調査実施（三神地区（白山ほか）） 随時：地権者協議 | |
| | 後期 | 10月～：森林整備実施（中畠地区（西長峰、東長峰、弥栄、松倉等）） 10月～：第4地区同意等の調査実施（三神地区（白山ほか）） 随時：地権者協議 | |

| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | |
|--|---|-----------|
| | 中畠地区（60ha）森林整備等完了 第4地区（三神地区）年度別計画を実施するための所有者調査完了 | |
| | 目標に対する前期までの成果 | 目標に対する達成率 |
| 【森林整備】 西長峰地区ほかの森林整備に着手しました。 【年度別計画】 第3、第4地区の測量・調査・設計に着手しました。 | | 50 % |
| 目標達成に向けての後期の取り組み | | |
| 【森林整備】 森林整備の実施、所有者・福島県等との協議を随時実施します。 【年度別計画】 平成31年度以降の森林整備を実施するための計画を作成します。 | | |

| | | |
|------------|--|--|
| 事業の概要・実施方針 | <p>地域振興の拠点、復興のシンボルとなる道の駅にするため、昨年度までの様々な検討結果を踏まえて、仮設実験店舗の開設や特産品の開発等のソフト事業のほか、道の駅整備基本設計を策定します。また、実施する事業に合わせて、道の駅地域協議会と部会の編成の見直しを行っていきます。</p> <p>「道の駅」のハード事業に活用できる、国の交付金等の有利な財源について引き続き調査します。</p> | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|--|---|--|
| | 前期 | 後期 | |
| | <p>6月 地域協議会の開催 5~9月 仮設実験店舗開設準備 7~9月 料理コンテスト募集要項作成 随時 部会の開催 随時 先進事例調査 随時 財源についての調査 随時 報道各社へ情報提供</p> | <p>10月~1月 仮設実験店舗開設 10~11月 料理コンテスト募集 12~1月 料理コンテスト開催 12~1月 シンポジウムの開催 3月 地域協議会の開催 未定 基本設計の作成 随時 部会の開催 随時 財源についての調査 随時 報道各社へ情報提供</p> | <p>6月26日 第1回地域協議会開催 8月8日 第1回特産品開発等推進部会開催 8月9日 第1回仮設実験店舗運営部会開催 7月~8月 仮設店舗出荷者募集 8月20日~ 家庭料理レシピ募集 8月21日 出荷者説明会 9月19日 仮設実験店舗「おいしい矢吹マルシェ」オープン 9月19日 認証ロゴマーク総選挙スタート</p> |
| | | | |

| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | |
|------|---|--|
| | 目標に対する前期までの成果 | |
| | 目標に対する達成率 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・基本設計の作成 ・仮設実験店舗の開設 ・料理等コンテストの開催・冊子の作成 ・シンポジウムの開催 ・矢吹ブランド認証制度の導入 ・地域商社設立準備 ・交付金等の有効な財源の調査 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・仮設実験店舗「おいしい矢吹マルシェ」オープン ・家庭料理レシピ募集開始 ・矢吹ブランド認証ロゴマーク3案作成、投票開始 | 60 % |
| | 目標達成に向けての後期の取り組み | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・仮設実験店舗「おいしい矢吹マルシェ」の運営（10月16日まで） ・家庭料理発表会「やぶき食卓博覧会」開催、冊子作成 ・矢吹ブランド認証制度ロゴマークの決定 ・シンポジウムの開催 ・基本設計の作成 ・地域商社設立準備 | |

| | | |
|------------|--|--|
| 事業の概要・実施方針 | 真夏の一大イベントとして、大池公園水上ステージを舞台に、町内外の太鼓団体の競演による祭りを開催します。迫力ある太鼓の競演や大池公園の水面を幻想的に彩る灯篭等の演出により、大池公園と矢吹町のPRを行います。 | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|-----------------|---|--------------------|
| | 前期 | 5月 総会、実行委員会の開催 随時 各関係者、関係団体との調整 7月 実行委員会の開催 7月 報道各社へ情報提供 7月28日 開催 | |
| | 後期 | 10月 実行委員会の開催 12月 次年度へ向けての検証 | |

| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | |
|--|---------------|---|
| | 目標に対する前期までの成果 | |
| | 目標に対する達成率 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・来場者 4,000人以上 (H29 3,000人) ・太鼓団体 8団体以上 ・ボランティアセンターの活用によるスタッフ配置 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・来場者 3,500人 ・太鼓団体 8団体出演 ・一般ボランティア参加 20名 | 90 | % |
| 目標達成に向けての後期の取り組み | | |
| 実行委員会の開催（今年度の振り返り、次年度へ向けての課題の洗い出し） | | |

| | | |
|------------|---|--|
| 事業の概要・実施方針 | 観光施設・公共施設の案内板を設置し、町外、町内の方に町の観光施設・公共施設の案内、PRを行うとともに、分かりやすい案内手法や景観形成に努めます。全町的な観光案内看板について「開拓ロード」の整備を行うとともに、調査結果等を元に観光案内板の維持管理、設置及び更新を行います。 | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|-----------------|--|--------------------|
| | 前期 | 7月～ 「開拓ロード」の整備 随時 「開拓ロード」ホームページ、SNS等による周知 7月 観光案内板の設置及び更新 随時 観光案内板の維持管理 | |
| | 後期 | 随時 「開拓ロード」ホームページ、SNS等による周知 随時 観光案内板の維持管理 | |

| | | | |
|------|--|--|-----------|
| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 「開拓ロード」の整備完了 年度内5箇所（全体28箇所） 観光案内板の維持管理、設置及び更新 | | |
| | 目標に対する前期までの成果 | | 目標に対する達成率 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 「開拓ロード」の整備完了 計5箇所 | | 60 % |

| | | |
|------------|--|--|
| 事業の概要・実施方針 | <p>「さわやかな田園のまち・やぶき」のふるさとづくりに賛同する人々の寄附金を財源として、多様な人々の参加による個性豊かな活力のあるまちづくりを推進します。</p> <p>矢吹町のPR、来町者の増加につながるような体験型の返礼品の検討、寄附者増加のための周知を行い、有効な自主財源となるよう事業の展開を図ります。また、寄附者の方への情報発信も強化し、継続的に矢吹町に関心を持ち、交流が続くような取り組みを行っていきます。</p> | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|-----------------|---|--------------------|
| | 前期 | 6月 返礼品の検討 8月 返礼品の決定、新たなカタログの作成 随時 ホームページ等による周知、PR、特集ページ等のツールの活用 随時 寄附者への情報発信 | |
| | 後期 | 随時 ホームページ等による周知、PR、特集ページ等のツールの活用 随時 寄附者への情報発信 | |

| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | |
|---|--|-----------|
| | <ul style="list-style-type: none"> 目標寄附件数 500件 (H29年 303件) 目標寄附金額 24,000,000円 (H29 9,589,000円) | |
| | 目標に対する前期までの成果 | 目標に対する達成率 |
| 9月21日現在 <ul style="list-style-type: none"> 寄附件数 169件 (H29年 91件) 寄附金額 4,315,000円 (H29年 3,106,000円) | | |
| | | 50 % |
| 目標達成に向けての後期の取り組み | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 寄附のピークとなる12月に向けて、ホームページ等による周知、特集記事投稿などによる情報発信 矢吹町に寄附された方への情報発信、メールマガジンの配信 体験型返礼品の検討 | | |

| | | |
|------------|--|--|
| 事業の概要・実施方針 | タウンプロモーション計画（2年目）に基づき、戦略的に矢吹町をPRします。SNSの有効活用を検討し、町内外への情報発信強化を図ります。また、CM大賞を含めメディアとのタイアップを行うほか、首都圏でのイベントに積極的に参加し、矢吹産農産物や地元商品のPRを戦略的に実施します。 | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|-----------------|---|--------------------|
| | 前期 | 4~6月 情報誌4版作成準備 5月 PR動画発表会 6~9月 情報誌制作 随时 光南高校との連携会議 6~9月 「ふくしま元気！応援CM大賞」作品企画・制作 4~6月 地方自治体SNS活用事例の調査 7~9月 SNS活用事例の検討 随时 首都圏でのイベント参加によるPR活動 未定 タイムラプス動画撮影 随時 報道各社へ情報提供 | |
| | 後期 | 随时 光南高校との連携会議 11月「ふくしま元気！応援CM大賞」出品 11月広報やふき記事掲載（光南高校） 10~11月 SNS活用事例の検討 1月 SNS活用ガイドライン策定 3月 タイムラップス動画発表会 随时 首都圏でのイベント参加によるPR活動 随时 報道各社へ情報提供 | |

| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | |
|---|---------------|---|
| | 目標に対する前期までの成果 | |
| | 目標に対する達成率 | |
| <ul style="list-style-type: none"> 矢吹町のフェイスブック「いいね！」…500件 新たなSNSの活用による情報発信と連携 首都圏での新酒の販売 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> PR大使、お米大使へ名刺の配布 情報誌4版（野菜編）の取材撮影 フェイスブックページ「いいね！」（フォロー）430獲得【前年同月292】 ふくしま元気！応援CM大賞の企画は連携協定を結ぶ光南高校に依頼し、提案に基づき制作 観光動画タイムラプス撮影 | 50 | % |
| 目標達成に向けての後期の取り組み | | |
| <p>情報誌4版を12月上旬に首都圏等で配布開始するよう進めます。 フェイスブックページは各課と連携し投稿数を増やして、「いいね！」（フォロー）を500まで伸ばします。</p> | | |

| | | |
|------------|---|--|
| 事業の概要・実施方針 | <p>矢吹駅施設であるコミュニティプラザ（観光案内所含む）について指定管理による良好な維持管理を行い、住民サービスの向上と町の情報発信、PR等を行います。</p> <p>施設の維持管理及び老朽化に伴う施設の計画的な修繕を行います。また、建築年数の経過に伴い修繕箇所の調査検討を行います。</p> | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|-----------------|---|--------------------|
| | 前期 | 4月 指定管理業務の年度協定の締結 毎月 指定管理状況報告及び運営協議 隨時 報道各社へ情報提供 | |
| | 後期 | 毎月 指定管理状況報告及び運営協議 10月～ 建築年数の経過に伴う修繕箇所の調査検討 隨時 報道各社へ情報提供 | |

| | | |
|------|--|-----------|
| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・観光案内所利用者数 15,000人 ・指定管理者による駅舎を利用したイベント 10回 ・駅舎における施設破損事件 0件 | |
| | 目標に対する前期までの成果 | 目標に対する達成率 |
| | 駅舎を利用したイベント ・PR動画お披露目会 55人 ・大河原健太 個展 1,055人 ・菊地清 個展 1,045人 駅舎における破損事件0件 | 50 % |

| | | |
|------------|--|--|
| 事業の概要・実施方針 | 町の推進政策及び事業推進に必要な情報、まちの話題に関し、広報誌やホームページはもとより、様々なメディアを活用して積極的に提供し、県内外に矢吹町をPRします。広報においては、町民の知りたい情報を広く正確に伝えること、ホームページにおいては新しい情報を積極的に提供すること、新聞等には町の話題を積極的に発信し充実を図ります。 | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|---|---|--------------------|
| | 前期 | 後期 | |
| | 4月 情報発信方法の周知 4月 行政アプリの活用 4月 桜マップの配布 4~9月 地方自治体SNS活用（ハッシュタグ含む）事例の調査・検討 随時 矢吹町ホームページ、広報やぶきによる行政及び町内イベント情報等の発信 随時 新聞各社へ記事の提供 随時 情報誌・フリーペーパー・web無料広告へ掲載 隨時 SNS上・SNSによる情報発信 | 4月 情報発信方法の周知 4月 行政アプリの活用 4月 桜マップの配布 5月 情報誌等の増刷 随時 矢吹町ホームページ、広報やぶきによる行政及び町内イベント情報等の発信 随時 新聞各社へ記事の提供 随時 情報誌・フリーペーパー・web無料広告へ掲載 隨時 SNSによる情報発信 | |
| | | | |

| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | |
|------|---|------|
| | 目標に対する前期までの成果 | |
| | 目標に対する達成率 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> フェイスブックページへ年間350件の記事投稿、「いいね！」数500件獲得 情報発信を行う仕組みの充実 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> フェイスブックページ「いいね！」（フォロー）430獲得【前年同月292】 行政アプリの配信スタート | 50 % |
| | 目標達成に向けての後期の取り組み | |
| | ホームページ及びフェイスブックの積極的な活用を行います。 地方自治体SNS活用（ハッシュタグ含む）事例の調査を行い、新たな情報発信について検討します。 | |

| | | |
|------------|--|--|
| 事業の概要・実施方針 | 全事務事業に関するマニュアル化を推進し、職員への活用徹底及び情報共有を図り、事務等の遅延やミスの防止に努め、住民サービスの向上を目指します。 | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|-----------------|---|--------------------|
| | 前期 | 隨時 業務マニュアルの整備 | |
| | | 随时 マニュアルの検証と見直し | |
| 後期 | 随时 業務マニュアルの整備 | 毎月課内会議を開催し、各事務業務に関する情報共有、手順の確認を行い、ミスや遅延の防止に努めました。 | |

| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | |
|-----------------------|--------------------------------------|-----------|
| | 効率的な事務処理とミスの未然防止、質の高いサービスの提供に取り組みます。 | |
| | 目標に対する前期までの成果 | 目標に対する達成率 |
| | 情報共有を図ることにより、遅延やミスは発生しませんでした。 | 50 % |
| 目標達成に向けての後期の取り組み | | |
| 引き続き情報共有と手順の確認等に努めます。 | | |

| | | |
|------------|---|--|
| 事業の概要・実施方針 | 「第6次矢吹町まちづくり総合計画」及び「矢吹町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、子育て支援の充実、企業誘致、雇用創出、道の駅整備、中心市街地再生等を推進するため、国の交付金等の有利な財源の確保に向け、最大限の努力を費やします。 | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|-----------------|--|--------------------|
| | 前期 | 4月 地方創生推進交付金（平成30年度第1回）実施計画書の提出 未定 地方創生推進交付金（平成30年度第2回）実施計画書の提出 | |
| | 後期 | 未定 地方創生推進交付金（平成31年度分）実施計画書の提出 | |

| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | | |
|--|---|--|-------------|
| | 地方創生各種交付金の採択率100% | | |
| | 目標に対する前期までの成果 | | 目標に対する達成率 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・域協議会及び各部会の開催 ・家庭料理レシピ募集開始 ・認証ロゴマーク総選挙開始 ・おいしい矢吹マルシェ開店 | | <p>50 %</p> |
| 目標達成に向けての後期の取り組み | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの取り組みを踏まえて、次年度へ向けての実施内容の検討・協議を行います。 | | | |

| | | |
|------------|-----------------------|--|
| 事業の概要・実施方針 | 節電、裏紙利用など、経費節減を徹底します。 | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|-----------------|-------------------------------------|--------------------|
| | 前期 | 随時 課内会議・係内会議において経費削減について意識の共有を図ります。 | |
| | 後期 | 随時 課内会議・係内会議において経費削減について意識の共有を図ります。 | |

| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | | |
|--------------------------|------------------------------|--|-----------|
| | 光熱水量、事務経費の削減（前年比3%削減） | | |
| | 目標に対する前期までの成果 | | 目標に対する達成率 |
| | 不要な電力節減、裏紙使用等に課員全員で取り組んでいます。 | | 50 % |
| 目標達成に向けての後期の取り組み | | | |
| 引き続き課内会議等で経費削減について徹底します。 | | | |

| | | |
|------------|---------------------------------------|--|
| 事業の概要・実施方針 | 民間委託のための課題等を整理し、新たな委託の可能性について検討を進めます。 | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|-----------------|------------------------------------|--------------------|
| | 前期 | 随時 事務事業の外部委託について、定期的な課内会議等にて検討します。 | |
| | 後期 | 随時 事務事業の外部委託について、定期的な課内会議等にて検討します。 | |

| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | |
|---|---|-----------|
| | 対象事業等の調査研究と案件抽出を行い、課題等を整理しながら民間委託に取り組みます。 | |
| | 目標に対する前期までの成果 | |
| | 協議検討を行うことにより、事務事業における課題整理が進んでいます。 | 目標に対する達成率 |
| | | 50 % |
| 目標達成に向けての後期の取り組み | | |
| 引き続き協議検討を行い、事務事業の見直し及び外部委託の可能性の向上に努めます。 | | |

| | | |
|------------|--|--|
| 事業の概要・実施方針 | 各種事務事業における業務量、進捗状況を把握し、業務分担を適宜行うことにより、時間外勤務の抑制に努めます。 | |
| | | |

| 進行管理 | 実施方法・手段・スケジュール等 | | 前期の実施状況(いつ・何を行ったか) |
|------|-----------------|---|--------------------|
| | 前期 | 毎月 課内会議により事務分掌を基にした進捗状況の確認及び職員における業務量を確認し、適宜業務分担の見直しを行います。 | |
| | 後期 | ・毎月 課内会議により事務分掌を基にした進捗状況の確認及び職員における業務量を確認し、適宜業務分担の見直しを行います。 | |

| | | | |
|------|--|-----------|---|
| 目標管理 | 成果目標・数値目標等 | | |
| | 残業時間の前年度比5%削減を目指します。 | | |
| | 目標に対する前期までの成果 | 目標に対する達成率 | |
| | 課内会議等で係間の連携を図り、各種事務事業における職員一人にかかる事務量の分散に努めました。 | 50 | % |